

授業 コード	11256	科目名	心理学実験実習		担当者		須崎 暁世			
		副題		開講期	後期	単位数	1	DP対応	S1,S2	
【授業概要】										
心理学では、「こころ」をどのように研究するかということが重要な問題であり、そのために様々な研究方法が考案されてきた。本実習では、代表的な研究方法である実験法、観察法、質問紙法、面接法、心理検査法について体験的に学ぶ。とりわけ、面接法、心理検査法といったやや応用的な課題が中心となる。										
【到達目標】										
得られたデータや結果を分析・考察し、レポートとしてまとめられるようになる。 実験法、観察法、質問紙法、面接法、心理検査法のいずれかを用いて研究を行うことができる。 他学生と積極的にコミュニケーションを取ることができる。										
【授業方法・計画】										
各課題の前半は配付プリントを用いた講義形式、後半は全員が参加体験する実習形式です。また、適宜グループディスカッションを行う。										
第1回	イントロダクション：心理学研究法とは									
第2回	パーソナルスペース1：課題説明									
第3回	パーソナルスペース2：実験									
第4回	パーソナルスペース3：分析									
第5回	行動観察1：課題説明・実施									
第6回	行動観察2：分析									
第7回	SD法1：課題説明・実施									
第8回	SD法2：分析									
第9回	インタビュー調査1：課題説明・実施									
第10回	インタビュー調査2：分析									
第11回	知能テスト・発達テスト1：課題説明・実施									
第12回	知能テスト・発達テスト2：分析・事例検討									
第13回	バウムテスト1：課題説明・実施									
第14回	バウムテスト2：分析									
【準備学習・復習】										
準備学習：毎回、実習終了時に次回の課題内容を伝えるので、課題に関して疑問点や不明点がある場合は事前にメモしておき、次回質問できるよう準備しておいてください。(20分) 復習：実習で学んだ内容をそのままにしておくのではなく、配付プリントを読み直し、しっかりと自分の知識にするよう努めてください。(20分)										
【課題に対するフィードバックの方法】										
・グループディスカッション後、解説を行います。 ・各課題のレポートは採点し、コメントを付して返却します。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
通常の講義形式の授業よりも、毎回の積極的な参加が必要になります。各課題に意欲的に取り組んでください。										
成績評価方法	受講態度(各回の授業内容の理解度)...30% 課題毎のレポート(基本事項の確認及び総合力)...70%									
教科書	教科書は指定せず、適宜プリントを配付します。									
参考書	参考書は適宜紹介します。									
	授業に関連する実務経験				カウンセラーとしての心理支援・カウンセリング業務					